

### 年始の飛行機事故から 考える保険について

年始早々地震とともに世間を騒がせたニュースといえば羽田空港での航空機事故だと思いませんか。日航機の保険についてはAIG損保が引き受け保険会社で保険金額は1億3000万ドル(約186億円)でした。航空機事故は本体価格のほか、払戻金・賠償金等損失が高額となり保険はマストと言えるでしょう。

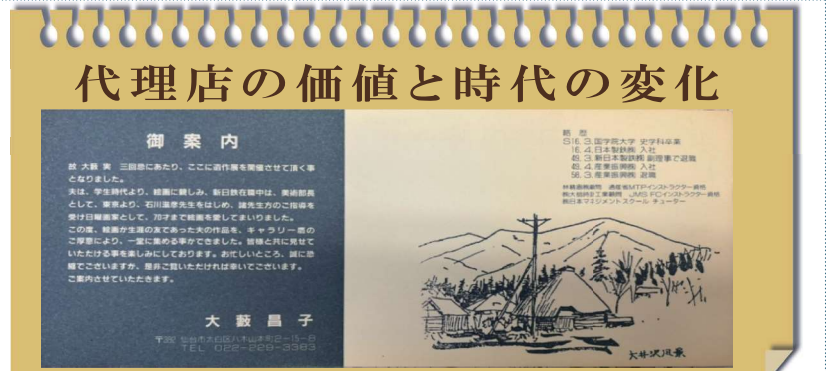
一方で、保険業界では航空機は保険制度になじまないと言われていまます。なぜなら保険には保険料を算出する際に「大数の法則」という大前提があるからです。これは、母集団の数が増えれば増えるほど、ある事柄の発生する割合は一定の値に近づきその値は事柄の発生する確率に等しくなるという定理です。例えば自動車保険の保険料を決

める際に加入者が一人しかいなければその人が事故を起こすか、起こすとしたらどの程度の規模になるかを予想して適切な保険料を算出するのは困難ですが、加入者が数万人いればそのうちの何人が、どの程度の事故を起こすのか統計から確率を割り出して保険料を算出できるようにするのが、航空機保険の難題です。つまり大きな事故があるとは保険料が上がり、可能性もあるのです。また、炎上した機体の手荷物については日本航空の規約では手荷物の補償の上限が十五万円とのことですが、十五万円以上の手荷物を持参したい方は「事前に申告価額を申請したうえで一万円ごとに十円の従価料をお支払いいただいた場合に限り」、申告価額を賠償限度額とするそうです。こ

形で海外に保険料を支払っています。この「再保険」の代表的な会社はイギリスのロイズです。このように航空機保険の保険料は保険会社一社だけでなく、日本全体、さらには世界規模で再保険市場を利用して決定されているのです。そしてこの再保険市場に必要な保険料は莫大であるため、日本の航空会社は再保険市場で安全性をアピールして少しでも保険料を減らすよう努めるそうです。つまり大きな事故があると保険料が上がり、可能性もあるのです。また、炎上した機体の手荷物については日本航空の規約では手荷物の補償の上限が十五万円とのことですが、十五万円以上の手荷物を持参したい方は「事前に申告価額を申請したうえで一万円ごとに十円の従価料をお支払いいただいた場合に限り」、申告価額を賠償限度額とするそうです。こ

填もできません。ご心配な方は弊社までご一報ください。

文責 中島



社長室を整理してましたら、こんなスケッチが出てきました。私の父が書いたものです。昭和63年11月に日本損害保険協会の厳しい審査を通じて「特級代理店」に認定されました。その時まで全国でも800店も認定されておらず保険業界から代理店のプロと認められたと思

ました。その正式な発表を前に平成元年1月29日に急逝心不全のため父は71歳で逝去しました。その1年後に仙台の丸光百貨店で父の趣味である絵画遺作展をおこなった案内状です。まさに私の30代半ばの激動の時代でした。その際もう少し頑張っていたら・否あの時代と私の能力では十分にやったとも。当時は全部の保険会社は同じ料率で同じ補償内容でした。もちろん特約での違いは有りましたが・。生保も扱っていたため「兼業代理店」とされました。随分変わったのですね。

大敷 邦嗣

# やぶやぶにゆうす



編集・発行：  
株式会社大敷保険  
コンサルタント  
代表取締役 大敷邦嗣  
〒167-0032 東京都  
杉並区天沼3-2-6-2F  
TEL.03-3392-6765  
FAX.03-3392-6793  
mail  
office@yabuyabu.com  
https://www.  
yabuyabu.com/

# 2024年ご挨拶

## 今年度のスローガン「希望とやりがい」

明けましておめでとうございます。という言葉が何となく違和感のある不安の幕開けとなりました。能登地震で被害に遭われた方に、心からお見舞い申し上げます。翌日の羽田空港での飛行機の衝突事故では、キャビンアテンダント等の適切な指示とお客様の秩序ある行動で被害が軽度であった事に感動しました。波乱の幕開けとなりましたが弊社今年度のスローガンを「希望とやりがい」と題して、より一層前に進めていきたいと考えています。

昨年には保険業界で「B M事件」や「保険会社の談合カルテル事件」で大きく揺れました。保険は公共性の高い制度と考えていました。日本の保険会社は利便性の名の下の「ついでやセット」の販売システムを創り上げました。副業支援が保険会社の使命だったようです。一方の保険会社による談合カルテルも独占禁止法に触れる問題です。これは契約者の社員の天下り先として系列に保険代理店を設置しているからで

す。保険料の高低やリスク分析が出来ない、悪い表現にすれば、能力のない代理店にしたてて、保険会社の手のひらで操ってきた昔からの縮図が明らかにされたことです。保険は難しい商品だと思えます。話がかわって、私はメジャーの野球が好きで野茂君の時代からイチロー、松井等数回アメリカに見に行っています。パワーも違うのですが、みんな個性あふれたフォームでプレーしています。また観客も本当に楽しんでボールパークという表現がぴったりです。

大谷君の1,000億円の契約金はどこかの予算額ではと？ましてや97%後払いとは！CM料がいっぱい入るのでしょうが・・・背番号を譲ってくれた方にポルシェをプレゼントする美談に、税務署は何にも言わないのでしょうか？デコピンはトイプードルより高いのだろうか？次喜多話も。たった7勝で防御率7点台の藤波君でもタイガース時代の10倍の5億円なら、日本の選手はみ

んなメジャーを目指すでしょうね！逆に日本にすごい選手がいっぱい来たのがラグビー「リーグワン」です。昨年のワールドカップで大活躍された選手がいっぱい日本でプレーして、一瞬でも目を離せません。サッカーもバスケットもバレーボールも男女とも世界で健闘しています。

今年パリオリンピックの年でメダルの数を競うことより、彼らの真摯なプレーで世界に羽ばたくところを見たいものです！スポーツ

この保険業界に入って45年経ち私の退場の時も近づいてきました。その間に自立した保険代理店のミスカバーする専門家賠償保険や損害保険協会が認定する最高峰の制度であるトータルプランナーの資格制度等の成立のお手伝いもしてきました。昨今の保険業界の問題解決やDXやスマホでのシステム販売にもトライしていく時代のようなです。



弊社も、よりお客様に信頼されるように一層研鑽を積んでまいります。地域に密着したデラックスなコンサルタントを今年も目指していきたいと考えております。よろしくお願いたします。



# 迷走？保険会社の新ルール 皆様のご協力をお願いします

昨年から損保業界を振り回しているビッグモーター問題とカルテル問題ですが、金融庁から各社へ業務改善命令が出され、今後は各社から具体的な対応策も出てくるものと思われまます。

正直なところ、ビッグモーターの不正請求については弊社の大藪が20年以上前から兼業代理店の問題を唱えてきていたものであり、カルテル（保険会社の談合）問題については日ごろ弊社に問いただされるコンプライアンスが保険会社側ではどうなっていたんだと憤りを禁じえません。

B M社の取り扱い保険料は年間ウン百億円に上ると言い、カルテルで問題となった東急グループの契約は1契約でウン十億円とのことで、莫大な保険料を得るためには何でもアリという損保会社の性質が明らかになったともいえると思っております。

ところが、某社から先日案内された新しいルールが「他保険会社との相見積もりで、競争上、定価から割引を申請する場合には事前にお客様から捺印を取り付けること」というものでした。今まではお客様の承諾が無くても、相談の上、必要な場合には割引をしてくれていたのです。が、今後は皆様から捺印をいただくなければならぬのです。

「あれ？カルテル問題は代理店が悪かったんですか？」

「代理店とお客様の間を増やす対策を真っ先に出す……？」

など、言いたいことはたくさんあるのですが……。面倒だからと言って、お客様皆様の受け取れるはずのメリットを弊社の判断で排除することは得策ではございません。

ですので、3月以降、弊社担当者から新たに捺印を事前にお願ひするケースが出てくることとなります。皆さまへベストプランを提供するためにどうしても必要なものでありますので、どうか協力をお願い申し上げます。

文責 高橋

# 地震保険 見直してみませんか？

地震等を原因とする火災・損壊・埋没・流失によって保険の対象について生じた損害が、「全損」、「大半損」、「小半損」または「一部損」に該当する場合に、実際の修理費ではなく、地震保険保険金額の一定割合（100%、60%、30%または5%）を保険金としてお支払いします（「全損」「大半損」「小半損」「一部損」の認定は、「地震保険損害認定基準」に基きます。）。

損害の程度	認定の基準		お支払いする保険金の額
	建物	家財	
全損	建物の時価の50%以上	家財全体の時価の80%以上	地震保険保険金額の100% (時価が限度)
大半損	建物の時価の40%以上 50%未満	家財全体の時価の60%以上 80%未満	地震保険保険金額の60% (時価の60%が限度)
小半損	建物の時価の20%以上 40%未満	家財全体の時価の30%以上 60%未満	地震保険保険金額の30% (時価の30%が限度)
一部損	建物の時価の3%以上 20%未満	家財全体の時価の10%以上 30%未満	地震保険保険金額の5% (時価の5%が限度)

※出典：東京海上日動火災保険より

# 歴史散歩道 徳川幕府に殉じた小栗又一忠順上野介編

昨年暮れに上州高崎倉洲にある東善寺に2度目のお墓参りに行ってきました。小栗上野介は最後の幕臣です。大隈重信からは「明治の近代化は小栗の構想の模範に過ぎない」東郷平八郎からは「日本海海戦の勝利は小栗が横須賀造船所を作ってくれた」からと言われています。

彼の家は三河安城以来の高級旗本で又一の名は家康から「また一番槍だな」と言われ代々受け継いできました。勝海舟のライバルとも言われてますが、幕府に見切りをつけた勝とは異なり、最後まで徳川家を守ろうとした立場で活動しました。

昨年の逸話も出てきました。例え徳川幕府が潰れても日本の将来のためには軍艦を修理・造船できる造船所の建設が必要と実行しました。さらに株式会社によるホテル建設やガス灯や電信の設置にも着手。戊辰戦争の折には箱根の山で新政府軍を留め、そこに幕府海軍が艦砲射撃する策を立てましたが恭順策の慶喜から罷免させられました。この



幕末の日米修好条約調印のお礼で初めて米国に渡り大統領に遭い、世界一周をしました。その時に日米の貨幣価値の違いを最初に訴

# 保険って素晴らしいですね！

大藪保険のバックオフィスで働いている菅（かん）です。私のつい最近、保険に加入してよかったです。と思う、胸を撫で下す出来事がありましたのでお話しさせていただきます。

息子（小学3年生）が今年の春から野球部に入団し、それからというもの我が家は野球一色の生活をおくっています。ボランティアで成り立っている野球部。父はコーチとして、私は当番や係でサポートをしています。試合等の遠征があれば、可能なご家庭の車を出し団員を引率します。

策を後で知った新政府軍の指揮者の大村益次郎が絶句したと伝わっています。徳川主導の近代国家構想が挫折し、所領の上州に帰りました。新政府軍への出頭命令を受けた翌日に詮議もなく斬首させられました。明治維新の歴史から消えられました。もって知って欲しい人物ですね。

いつものように練習試合があり、我が家の車も数人の団員を乗せて向かっている中で、団員のひとりが車酔いになり後部座席で嘔吐してしまいました。こちらも想定内で車出ししていますので、起きたことはしょうがありません。嘔吐してしまつた団員の親御さんは、クリーニング代を弁償しますと快くおっしゃってくださいました。が、嘔吐ということで特別クリーニング費用が高くなり、クリーニング代が高くなってしまいました。金額をお伝えするのは心苦しいという思いを会

